

## 2021年度 小金井市障害者地域自立生活支援センター 事業報告

### はじめに

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、計画相談事業では御利用者様と直接お会いしての面談を縮小し、電話や書面での相談を多く行いました。しかし、御利用者様の状況により訪問や通院同行援助等の直接支援も行ったため、感染リスクと隣り合わせの状況にもありましたが、手洗い・マスク着用等感染防止対策とともに日々の健康チェック等への取り組みも実践しました。

### 1) 基幹相談支援センター

#### ① 相談支援を利用している障害者等の人数

基幹相談支援センター連絡会に参加して、課題や取り組み状況等の情報共有を行いました。新型コロナウイルスの影響でメール等の相談が増えました。

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	4697	260	11	617	1387	79	23	2320
障害児	19	1	12	1	0	0	0	5
計	4716	261	23	618	1383	79	23	2325

#### 上記その他内訳

その他	家族	福祉関係者	行政関係者	教育関係者	医療関係者	地域関係者	権利擁護関係者	企業関係者
491	298	751	421	55	106	42	95	27

### 支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
件数	234	119	76	1706	909	40	26	1562

#### ② 支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
件数	1138	686	807	1760	162	372	150	319

	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	156	234	91	1714	7585

## 2) 障害者相談支援事業

基幹相談支援センターで受けた障害者相談は、サービス利用援助、社会資源の活用支援、専門家の紹介や連携を行っています。また、障害者に向けた音楽療法・パソコン講習会・ピアカウンセリングを開催しています。

### ①講座・講習

音楽療法：月1回、年10回の講座に5名の方が参加されました。2つのグループ分けをして、特に障害の重度の方を対象にした講座を実施しました。

パソコン講習会：身体障害コース×2回（6名定員 1回目：申込者なく、準備  
2回目2名受講）

知的障害コース×2回（6名定員 1回目：申込者なく、準備  
2回目1名受講）

ピアカウンセリング：知的・肢体不自由・視覚・聴覚・心の悩みのピア相談を実施しましたが、感染状況に応じて時間短縮等を行って相談を実施しました。心の悩み相談に関しては、ピアの相談者と話し合い、感染状況が高いときには、相談を中止しました。

### ②高次脳・難病支援促進事業

高次脳機能障害者支援促進事業：令和3年10月9日に「見えない障害」を理解する、をテーマに上田敏先生に講演をいただきました。講演会開催にあたっては当事者・家族の会と連携しました。また、新型コロナへの対策としてwebでのオンライン参加と会場参加のハイブリッド開催で、web34名と会場9名の方が参加されました。講演後1カ月のアーカイブ配信を行い、151名の視聴がされました。

難病者支援促進事業：令和4年3月12日（土）難病の方の地域生活を支える、をテーマにNPO法人グレースケア三鷹オフィス所長加守田久美氏の講演会を実施しました。講演会後に当事者会・連絡会も行いました。Web参加10名、会場参加14名、計24名の参加で実施しました。

## 3) 指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業

### ①指定特定相談支援事業

支援センターでは、計画作成の相談を受けた場合、困難事例や緊急の相談に関して支援センターで対応するケース以外は、地域の相談事業所に計画作成を依頼することを基本としています。近年、地域の相談事業所が増加していることから、支援センターでの計画相談を地域の相談支援事業所に依頼する件数を増加するように進めています。

計画相談の実数 支援センター職員：12件 登録型相談員：14件

### ②指定一般相談支援事業

施設・病院からの地域移行相談は1件の相談を受けていますが、新型コロナウイルス感染状況を受けて中断しています。

## 4) 障害者虐待防止センター

8件の虐待相談を受け、小金井市と連携して対応しました。障害者施設における虐待の通報では、被通報施設の施設職員全員の聞き取りを行いました。虐待防止研修は、障害者の虐待防止と権利擁護～日常生活自立支援事業と成年後見制度を通して～小金井市社会福祉協議会事務局長の室岡利明氏を講師に招いて実施しました。Web18名、会場5名の計23名の参加がありました。

#### 5) 小金井市自立支援協議会

年4回の全体会と6回の専門部会を開催しました。本年度の自立支援協議会は、差別解消条例見直しワーキンググループの方々にご尽力いただき、本年度のまとめとすることが出来ました。事務局としては、会議資料の作成を小金井市と連携して行い、協議会の議事録も作成しました。基本的に運営は、会長・副会長・各専門部会長・小金井市で行われました。

#### 6) 地域生活支援拠点等事業

地域生活支援拠点等事業は、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能を持つ場所や体制で、主な機能は、①相談②緊急時の受け入れ・対応③体験お機会・場④専門的人材の確保養成⑤地域の体制づくりです。

⑤地域の体制づくりとして、相談事業所連絡会を立ち上げ、次年度以降の継続的な開催に向け方向性を示しました。

④専門的人材の確保・養成では、移動支援従業者養成研修を2回実施(8名終了)し、同行援護従業者養成研修を1回実施(8名終了)しました。研修実施にあたっては、新型コロナウイルス感染対策を行い、無事終了することが出来ました。

小金井市と自立支援協議会相談支援部会の協力を得て、相談支援事業所連絡会と地域生活拠点等事業説明会を実施しました。小金井市主導で、次年度以降の相談事業所連絡会の開催日程を決定しました。今後、基幹相談支援センターが連絡調整役として活動を行っていきます。